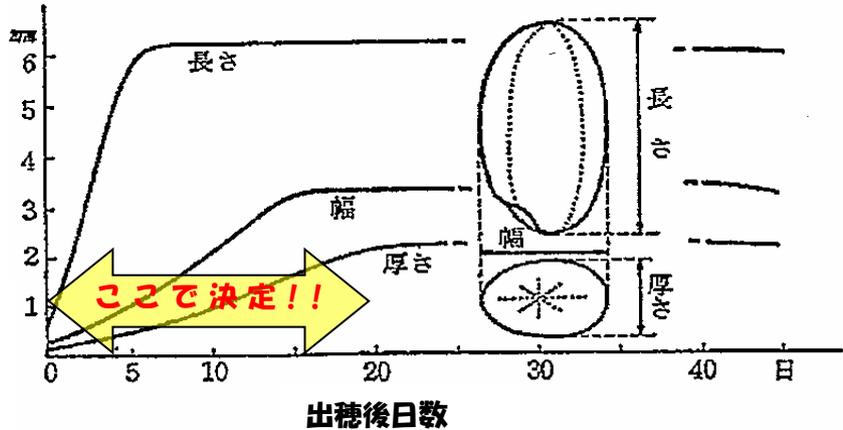


出穂後の通水管理で登熟向上を目指そう!!

玄米外形の発達

- (出穂後 5日) 玄米の**長さ**が決定!
- (出穂後 15日) 玄米の**幅**が決定!
- (出穂後 20日) 玄米の**厚さ**が決定!



登熟の必須要素

- ★日射量 養分やデンプンを生成
- ★気温 20℃～25℃がベスト! 高すぎると稲自身の消耗が増える
- ★土壌養分 N(窒素)だけでなく、K(カリ)も登熟向上に必要
- ★灌水量

出穂期以降の人為的な管理はムスカシイ...

上図のように、出穂後 20 日間は特に要注意!!

今からできること
それは...

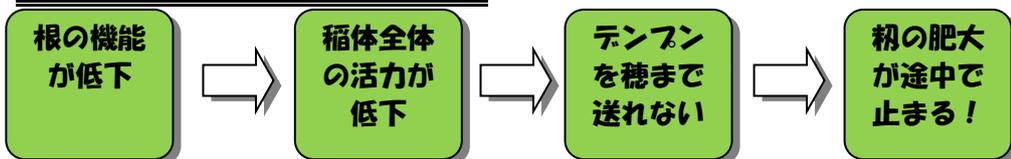
稲は1日5トン
(10aあたり)
もの水を必要
とします!!

こまめな通水管理で

乳白粒・胴割粒を防止しよう!!

- 収穫 5 日前まで、間断通水を行いましょう。
- 3 日おきの間断通水で田面を乾かさなことが重要です。
- 水はけの悪い圃場では常時湛水は避けて下さい。
- 当面気温が高く推移する予報が出ています。通水はなるべく水温の低い夜間に行い、稲体の消耗を抑えましよう。
- 台風の接近時にはフェーン現象時には、事前に入水して下さい。

落水が早すぎると...



収量・品質
の低下を
招く!!



適期防除に努めましょう！

高温・少雨の天候が続き、各品種で出穂期が早まっています。

防除剤の適期散布により、病害虫対策を行いましょう！

| | | |
|-----|-------------------------|-------------------------|
| | ゆめみづほ | コシヒカリ |
| 出穂期 | 7月11日～15日 (平年：7月19日) | 7月23日～29日 (平年：7月29日) |

【粉剤体系】

| | 1回目 | 2回目 | 3回目 |
|-------|-------------------------------------|--|---|
| 散布適期 | ハブラバリダ粉剤DL 3～4kg/10a いもち病、紋枯病 | ビームクラブジョーカー粉剤DL 4kg/10a いもち病、カメムシ類、ウカ類、ツマグロヨコバイ、ゴトメガ | ダントツ粉剤DL 4kg/10a カメムシ類、ウカ類、ツマグロヨコバイ、イコ類 |
| コシヒカリ | 7月15日～7月21日 | 7月30日～8月5日 | 8月7日～8月13日 |

※散布後3～4時間は無降雨が続くタイミングで散布してください。



石川県内でいもち病が確認されています。今後の天候によっては発生拡大の可能性もありますので、圃場の確認・防除の徹底をお願いします！

① こまめにほ場を見回りし、早期発見に努めましょう！

- ▶ 常発地や葉色の濃いほ場を重点に見回りしてください。
- ▶ 予防剤を施用していないほ場は特に注意が必要です。

② 葉いもちを確認したら、ただちに防除しましょう！

- ▶ 周辺ほ場の発生状況も確認し、広範囲に発生している場合は、地域ぐるみで防除してください。
- ▶ 発生圃場には下記の薬剤を散布してください。

| 剤型 | 薬剤名 | 10a当たり散布量 | 使用時期 | 使用回数 |
|----|-----------|---------------------|---------|------|
| 粉剤 | ブラシン粉剤DL | 4 kg | 収穫7日前まで | 2回まで |
| 液剤 | ブラシンフロアブル | 薬量：100ml 水量：100L | | |

※散布後3～4時間は無降雨が続くタイミングで散布してください。

※「斑点米カメムシ」にも注意！！

石川県内全域において斑点米カメムシの多発注意報が発表されております。7月の気温は平年より高い予想で、今後カメムシ類の増殖・活動が活発になると推測されます。

防除の徹底で品質低下(斑点米)を防止しましょう！